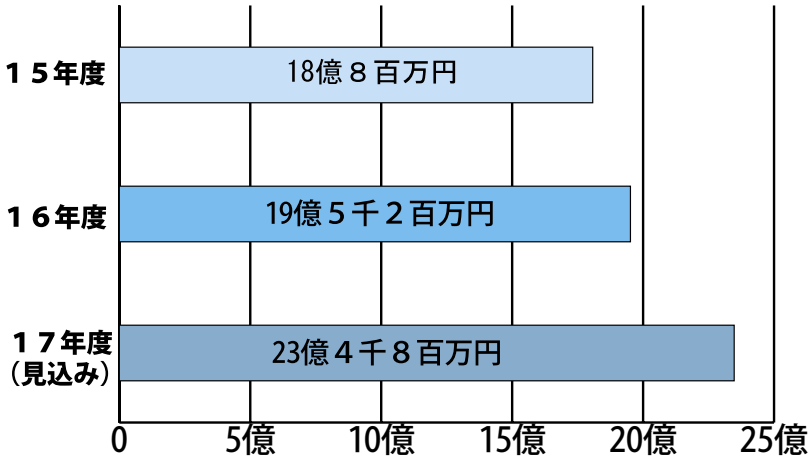


# 国民健康保険の財政はピンチです！！ 5億4千万円も増えました

## 国民健康保険医療費の推移



医療費が増え続けています。平成15年度と今年度をくらべると、なんと30%、金額にすると5億4千万円も増えています。国保の会計は、みなさんの国保税や国・県などの補助金で運営されていますが、増え続ける医療費の支払いに財源不足が危惧されています。今年度は、緊急時に備えて積み立てていた約1億円の基金を取り崩さなければ医療費が払えなくなりました。

周防大島町の国保税額は、山口県内でも二番目に低いのですが、このまま医療費が増え続けると、保険料率の改正をしなければ国保制度の存続ができなくなります。安心して治療を受けるために、お医者さんにかかるときは、重複受診はやめて適正な受診をお願いします。

■問い合わせ／医療保険課 ☎ 77-55502

## 未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選に 沖家室の漁村集落が認定されました

水産庁が本年度に実施した「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に、周防大島町から沖家室の漁村集落が認定され、2月22日に農林水産大臣から認定証が授与されました。

全国の漁村に残る歴史的・文化的に価値の高い施設、貴重な工法や様式の施設などを「歴史文化財産百選」として認定するものです。都市と漁村の交流の場や手段としての活用を促し、国民の水産業や漁村に対する理解や関心を深めることが目的です。

平成17年9月から11月の間、郵送やインターネットなどで一般から募集した候補の中から、各方面の専門家などにより構成された「選定委員会」により選定したものを農林水産大臣が認定しました。

山口県からは他に、「祝島の神舞と石積み集落（上関町）」「牛島漁港藤田・西崎の波止（光市）」「下関漁港閘門（下関市）」「青海島鯨墓（長門市）」のあわせて5施設が認定されました。県内で認定された5施設の写真は県ホームページ（漁港漁村課）に掲載されています。

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/>



集落から漁港と沖家室大橋を望む